

決 算 額 調

収 入

区 分	決 算 額	説 明
会費	円	
参加者負担金		
国、県補助金等	㉓	
入場料、広告料等	㉔	
市 補 助 金	㉕	補助対象経費計㉖(㉓-㉔-㉕) 円 ㉖ ×補助率 1/2 = 円 限 度 額 ㉗ 円 (千円未満切捨て)
計	㉘	

支 出

補助対象事業区分	決 算 額	説 明
	円	円
補助対象経費小計 (補助金算定基礎額)	㉙	
<b>補助対象外経費</b>		
印刷製本費(対象外分)		
郵便料(対象外分)		
補助対象外経費小計	㉚	
計	㉛(㉙+㉚)	

注 補助対象事業区分欄は、補助対象経費の項目ごとに記入すること。  
 備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

決 算 額 調

収 入

区 分	決 算 額	説 明
会 費	60,800 円	会 費より (★年会費等から本事業に充てる費用)
参加者負担金	25,000	1,000円 × 25人 (★会費とは別に出席等参加者から徴収する費用)
国、県補助金等	2,000	〇〇事業助成金
入場料、広告料等	60,000	入場料 300円 × 200人
市 補 助 金	42,000	補助対象経費計 <sup>⑤</sup> ( <sup>⑤</sup> A- <sup>⑥</sup> C- <sup>⑦</sup> D) 84,800 円(E) <sup>⑤</sup> 84,800 × 補助率 1/2 = 42,400 円 限 度 額 <sup>⑧</sup> 42,000 ← (千円未満切捨額が <sup>⑧</sup> F)
計	189,800	

補助対象経費計は、  
A-C-Dになります。

支 出

①+②は説明にある金額を足す(計)という意味です。

補助対象事業区分	決 算 額	説 明
報 償 費 ※講師招聘事業のみ	16,000 円 (①+②)	講演謝礼 ①.. 10,000 パネリスト謝礼(誰彼 太郎、何姫 花子)3,000×2 ②.. 6,000
交通費 ※講師招聘事業のみ	700 (③)	名鉄名古屋から国府宮(往復) ③.. 700 350円×2
消耗品費	15,100 (④~⑦の計)	キャプション用厚紙 ④.. 200 インク代 ⑤.. 800 コピー用紙 300円×5枚 ⑥.. 1,500 看板作成代 ⑦.. 12,600
印刷製本費	50,000 (⑧+⑨) ※50,000(上限)	プログラム印刷代 300部 ⑧.. 12,000 チラシ印刷代 1,000枚 ⑨.. 40,000 ⑧+⑨の計が50,000を超した場合は一律50,000となります。
郵 便 料	10,000 (⑩+⑪) ※10,000(上限)	案内ハガキ用切手 52円×100枚 ⑩.. 5,200 案内封書用切手 82円×100枚 ⑪.. 8,200 ⑩+⑪の計が10,000を超した場合は一律10,000となります。
使 用 料	55,000 (⑫+⑬)	〇〇会館 使用料 5,000円×7日 ⑫.. 35,000 〇〇会館 備品使用料 ⑬.. 20,000
補助対象経費小計 (補助金算定基礎額)	146,800 (①~⑬の計)	補助対象経費は、業者発注するもの。(個人名の領収書は謝礼の 但し、印刷製本費と郵便料の上限額を超えた場合は、上限額で
補助対象外経費		印刷製品費・郵便料の上限額超過分の金額を記入。 例)印刷製本費52,000で超過額2,000円とし、対象外経費記入欄に
印刷製本費(対象外分)	2,000	
郵便料(対象外分)	3,400	
食糧費	25,000	
カメラマン・受付謝礼	4,000	
運搬費	6,000	
消耗品費(芳名帳)	2,600	
補助対象外経費小計	43,000	〇補助対象経費は申請者(団体)宛の領収書が必要です。 〇謝礼は、必ず受け取られた方の住所、氏名、印鑑が必要です。(同じ団体の構成員に支払われた謝礼等は補助対象外経費となります。) 〇事業終了後に個人所有物となる物品は除きます。 〇交付決定額より完了報告の額(補助金額)が少ない場合は、変更申請が必要となります。その際、生涯学習課に連絡してください。
計	189,800	